

リーディング・第5回 解答と解説

問題番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	自採 己点
第1問 (10)	A	1	1	3	2
		2	2	2	2
	B	1	3	3	2
		2	4	1	2
		3	5	2	2
	自己採点小計				
第2問 (20)	A	1	6	2	2
		2	7	1	2
		3	8	3	2
		4	9	2	2
		5	10	4	2
	B	1	11	2	2
		2	12	1	2
		3	13	1	2
		4	14	4	2
		5	15	5	2
自己採点小計					
第3問 (4)	1	16	2	2	
	2	17	2	2	
自己採点小計					
第4問 (8)	1	18	2	2	
	2	19	2	2	
	3	20	4	2	
	4	21	3	2	
自己採点小計					

(注)

*1は、全部正解の場合のみ点を与える。

*2は、解答の順序は問わない。

問題番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	自採 己点
第5問 (16)	1	22	4	3	
		23	1	2	
	2	24	3	2	
		25	3	3	
		26	2	3	
5	27	4	3		
自己採点小計					
第6問 (15)	1	28	4	3	
		29	3	3	
	3	30	2	3*1	
		31	3		
		32	5		
		33	1		
		34	3		3
	5	35	1,5*2	3*1	
		36			
	自己採点小計				
第7問 (12)	1	37	3	3	
		38	2,4*2	3*1	
	39				
	4	40	1	3	
41		4	3		
自己採点小計					
第8問 (15)	1	42	3	3	
		43	2	3	
	3	44	2,5*2	3*1	
		45			
	5	46	3	3	
47		1	3		
自己採点小計					

自己採点合計

第1問

A

問1 「チラシの目的は何か」 1

- ① 生徒に修学旅行中の案内をすること
 ② 街の伝統的な建築物を紹介すること
 ③ ガイドツアーの選択肢を提示すること
 ④ 史跡に関する情報を提供すること

正解 ⇒ ③

導入文に「あなたは修学旅行で歴史的な街を訪れる予定です。選択可能な二つのガイドツアーについて書かれたプリントを教師から渡されました」とあるので、③が正解。

【語句・表現】

- ・ handout 「プリント, ビラ」
- ・ school trip 「修学旅行」
- ・ architecture 「建築物」
- ・ guided 「ガイド付きの, 案内のある」
- ・ historical 「歴史的な」
- ・ site 「遺跡, 場所」

問2 「両方のツアーについて正しいものはどれか」 2

- ① ツアー中はいつでも飲食できる。
 ② ガイドから歴史的な情報を得ることができる。
 ③ 午前中にツアーを終えることができる。
 ④ 時代衣装を着ることができる。

正解 ⇒ ②

旧市街ウォーキングツアーには「時代をさかのぼり, 植民地時代の街の豊かな歴史を探訪しましょう」「昔ながらの衣装に身を包んだガイドが案内します」, 川下りツアーには「経験豊かなガイドが『川の街』の昔話をします」とあることから, 正解は②。旧市街ウォーキングツアーの説明の四つ目に「ツアー中の食事は禁止です」とあることから, ①は誤り。③については, 川下りツアーが「午前11時30分に出発する2時間のクルーズ」とあることから, 終了時刻が午後1時30分になることがわかるため誤り。④は旧市街ウォーキングツアーに「昔ながらの衣装に身を包んだガイドが案内します」とあるが, 参加者が着用できるわけではない。また, 川下りツアーに衣装についての記述はないので誤り。

【語句・表現】

- ・ costume 「衣装」

【全訳】

あなたは修学旅行で歴史的な街を訪れる予定です。選択可能な二つのガイドツアーについて書かれたプリントを教師から渡されました。

歴史ツアー

- ◆ 旧市街ウォーキングツアー
 時代をさかのぼり, 植民地時代の街の豊かな歴史を探訪しましょう
 ・ 開始は午前9時からで, 所要時間は2時間30分(休憩あり)です
 ・ 昔ながらの衣装に身を包んだガイドが案内します
 ・ 歴史的建造物や名所に立ち寄ります
 ・ ツアー中の食事は禁止です

- ◆ 川下りツアー
 川下り観光を楽しみながら, 街の歴史を発見しましょう
 ・ 午前11時30分に出発する2時間のクルーズです
 ・ 経験豊かなガイドが『川の街』の昔話をします
 ・ 街の湾岸地域と背後の山々を一望できます
 ・ 船内のカフェで軽食や飲み物が楽しめます

参加方法: どちらのガイドツアーに参加したいですか? 下記の欄に記入の上, 本日に担任の先生に提出してください。

1つ(✓) 選びなさい: 旧市街ウォーキングツアー 川下りツアー
 名前: _____

【語句・表現】

〈旧市街ウォーキングツアー〉

- ・ step back 「さかのぼる, 後ろへ戻る」
- ・ explore 「～を探索する」
- ・ colonial 「植民地の」
- ・ era 「時代」
- ・ continue 「続く」
- ・ break 「休憩」
- ・ inform 「～に知らせる」
- ・ dressed 「身にまとった, 着用した」
- ・ old-fashioned 「昔ながらの」
- ・ historic 「歴史上重要な」
- ・ allowed 「許された」

〈川下りツアー〉

- ・ cruise 「巡航, 船旅」
- ・ sightseeing 「観光」
- ・ last 「続く」
- ・ experienced 「経験豊かな」
- ・ bay 「湾, 入江」
- ・ offer 「～を提供する」
- ・ snack 「軽食」

B

問1 「メロディー・ミュージック・ワークショップの全ての講師は 3 ことがある」

- ① 音楽コンサートに出演した
 ② 全国音楽コンクールで優勝した
 ③ 音楽教育に携わった
 ④ 人気アーティストに楽曲を提供した

正解 ⇒ ③

全員の講師に共通する経験は指導・教育なので、③が正解。①について当てはまるのは「歌唱」の講師だけ。②に該当する講師はいない。作詞作曲の講師のみが④の経験をもつ。

【語句・表現】

- ・instructor「講師, 指導員」
- ・workshop「講習会, 研修」
- ・perform「実演する, 歌を歌う」
- ・competition「コンクール, コンテスト」
- ・education「教育」

問2 「講習会の最終日, 全ての参加者は

- ① 上達を披露するために競い合う
- ② 互いの実演を評価し合う
- ③ 他の講習参加者とバンドを組む
- ④ オリジナル曲を作る

正解 ⇒ ①

全ての講習会で、最終日に指示されているのはコンテストに参加することなので、①が正解。②は記述がない。また③、④はそれぞれ「楽器」と「作詞作曲」の講習会だけで行う活動だ。

【語句・表現】

- ・participant「参加者」
- ・compete「競争する, 競う」
- ・improvement「上達, 向上」
- ・evaluate「～を評価する」
- ・join「～に加わる, 参加する」
- ・composition「作品, 曲」

問3 「講習会に申し込んだ後に何があるか」

- ① どれでも好きな講習会に参加する。
- ② 対面での面接に招かれる。
- ③ オンラインの面接で音楽の能力を見せる。
- ④ 講師によって紙の申込書が確認される。

正解 ⇒ ②

「申込方法」の手順2から正解は②だ。①は手順3から誤り。③は「オンラインの面接で」能力を見せるという記述がないので誤り。④については手順1から、申し込みは「紙」ではなく「オンライン」だということが分かる。また申込書が講師によって確認されるという記述はないので誤り。

【語句・表現】

- ・submit「～を提出する」
- ・application「申し込み」
- ・attend「～に参加する」
- ・whichever 名詞 SV「～するどの…でも」

- ・interview「面接」
- ・online「オンラインの, ネットワークを利用した」

【全訳】

あなたはアメリカに留学している高校生で、夏休み中に音楽の腕前を上げたいと考えています。ある有名な音楽学校が企画する音楽講習会の広告を目にしました。

メロディー・ミュージック・ワークショップ

メロディー・ミュージック・ワークショップ (MMW) は1995年から、高校生のための音楽講習会を提供しています。音楽漬けの2週間を過ごしましょう！

日程：2024年7月15日～28日

場所：ハーモニーホール（カリフォルニア州サンフランシスコ）

費用：800ドル（指導料と楽器の利用料を含みます。個人レッスンと、その際の楽器レンタルは別途料金が必要）

講習内容

◆歌唱：歌唱技術や舞台度胸を学び、流行歌をグループで演奏します。講師は音楽業界での指導経験があり、様々なコンサートやイベントに出演しています。講習会の最終日にはコンテストに参加し、実力を発揮してください。

◆楽器：好きな楽器（ギター・ピアノ・ドラム・バイオリン）を選び、専門的な指導を受けることができます。各楽器の講師は、音楽教育や演奏に精通しています。参加者同士でバンドを組み、最終日に賞を狙って他のバンドと競い合ってください。

◆作詞作曲：作曲技術を磨き、他の参加者と協力してオリジナル曲を作りましょう。講師は音楽教師でありかつ、人気アーティストの楽曲も手がけるプロのシンガーソングライターです。7月28日の音楽イベントで、あなたたちのオリジナル曲を披露するコンテストに参加しましょう。

▲申込方法

手順1：2024年6月15日までに、こちらのオンライン応募フォームに入力してください。

手順2：当方から連絡してあなた自身と音楽の力を詳しく知るための、対面での面接日時を設定します。

手順3：あなたの音楽の力や興味に応じて、いずれかの講習会に割り振られます。

【語句・表現】

〈導入文〉

- ・improve「～を向上させる」
- ・skill「腕前, 技能」
- ・come across「～を見つける」
- ・advertisement「広告」
- ・plan「～を計画する」

〈チラシ冒頭〉

- ・fully「たっぷり, まるまる」
- ・include「～を含む」
- ・instruction「指導」
- ・access to ~「～の利用」
- ・musical instrument「楽器」
- ・optional「選択制の」

- ・ private 「個人的な」
- ・ rental 「貸し付け」
- ・ additional fee 「追加料金」
- ・ require 「～を必要とする」

〈歌唱〉

- ・ vocal 「ボーカル, 音声の」
- ・ technique 「技術」
- ・ stage presence 「舞台度胸」
- ・ industry 「業界」

・ take part in ~ 「～に参加する」

〈楽器〉

- ・ receive 「～を受ける」
- ・ specialized 「専門的な」
- ・ background 「経歴」
- ・ fellow 「仲間」
- ・ prize 「賞」

〈作詞作曲〉

- ・ develop 「～を発達させる」
- ・ songwriting 「作詞作曲」
- ・ collaborate 「協力する」
- ・ A as well as B 「BだけでなくAも」
- ・ participate in 「～に参加する」

第2問

A

問1 「メーカーが述べている内容によると、新しい電子書籍リーダーの使い方として適切でないのはどれか」

- ① 電車でオーディオブックを聞くこと
- ② 入浴中に小説を読むこと
- ③ 庭で写真集を見ること
- ④ 電子書籍のレシピにメモを書くこと

正解 ⇒ ②

「特色」の末尾に「ただし、防水機能はありません」とあることから、入浴中に使用してはいけないことがわかるので、正解は②。「強み」の欄で、ヘッドフォンを使ってオーディオブックを聞くことができると書かれていることから、①は問題ない。③、④についても、使用上問題となるような記述はない。

【語句・表現】

- ・ maker 「製造業者, メーカー」
- ・ statement 「陳述, 述べること」
- ・ appropriate 「適切な」
- ・ e-book reader 「電子書籍リーダー」
- ・ audio book 「オーディオブック」: 書籍の内容の朗読を録音したもの。
- ・ recipe 「レシピ」

問2 「ブレイン SP 電子書籍リーダーが提供する恩恵のうち、あなたにとって最も魅力的でありそうなのはどれか」

- ① 紙の書籍からスキャンデータを得られること
- ② 自動で明るさが調節されること
- ③ 電子書籍上にメモをとること
- ④ 新しい書籍のお勧めを受け取ること

正解 ⇒ ①

リード文に「あなたは本棚に本があり過ぎて、スペースがなくなってしまったため、電子書籍リーダーを買いたいと思っています」とあることから、紙の本を電子化してくれるサービスに最も魅力を感じると思われる。正解は①。

【語句・表現】

- ・ benefit 「恩恵, 利益」
- ・ be likely to do 「～しそうである」
- ・ appeal to ~ 「～の心に訴える」
- ・ brightness 「明るさ」
- ・ adjust 「～を調節する」
- ・ automatically 「自動で」
- ・ recommendation 「お勧め」

問3 「利用者が述べているひとつの意見は というものだ」

- ① オーディオブックはヘッドフォンなしでも聞くことができる
- ② 機器を使つての読書は紙の本を読むこととは全く異なる
- ③ お勧めされる本は面白い
- ④ 読書好きにとってストレージが小さ過ぎる

正解 ⇒ ③

利用者の最初のコメントに「さまざまな書籍を紹介してくれますが、その多くが興味深いです」とあるので、③が正解。①は事実としては正しいが、利用者の「意見」ではない。②は「私は子供のころからの本好きですが、今は紙の本で読んでいた時と同じように読書を楽しんでいます」、④は「もっと小容量でいいのもっと安いのがあればいいと思います」というコメントとそれぞれ矛盾するため、不正解。

【語句・表現】

- ・ state 「～を述べる」
- ・ customer 「顧客」
- ・ device 「機器」
- ・ totally 「全く, 完全に」
- ・ recommend 「～を勧める」
- ・ storage 「ストレージ」: パソコンなどの電子機器がデータを記憶する場所。

問4 「ある利用者が暗い部屋で読書をする際の問題点に言及している。このコメントはどの特徴に基づいているか」

- ① オーディオブック
- ② 明るさの自動調節
- ③ 新しい本のお勧め
- ④ スキャンデータの利用

正解 ⇒ ②

利用者のコメントの中に「暗い部屋で読書をする時にライトが明る過ぎることがあり、自分で明度を下げする必要があります」というものがあり、これが該当のコメントであることがわかる。これに関連するのは、周囲の明るさによって自動で明るさを調整する機能であるので、正解は②。

【語句・表現】

- ・ mention 「～に言及する」
- ・ feature 「特徴」
- ・ be based on ～ 「～に基づいている」
- ・ automatic 「自動的な」
- ・ adjustment 「調節」
- ・ available 「利用可能な」

問5 「ある利用者のコメントによると、10 は良い考えである」

- ① 書籍リーダーへの追加のストレージ
- ② メーカーのお勧めを無視すること
- ③ ライトをできるだけ明るくすること
- ④ タイピングでメモをとること

正解 ⇒ ④

利用者のコメントに「たくさん書く際は付属のペンを使うよりもタイピングで入力の方が好きです」とあることから、④が正解。他の選択肢については、該当する内容が述べられているコメントがない。

【語句・表現】

- ・ additional 「追加の」
- ・ ignore 「～を無視する」
- ・ bright 「明るい」

【全訳】

あなたは本棚に本があり過ぎて、スペースがなくなってしまったため、電子書籍リーダーを買いたいと思っています。あなたはイギリスのウェブサイト調べており、この広告を見つけました。

コージー電子が新しいブレイン SP 電子書籍リーダーを発表

ブレイン SP はあなたの読書生活をより良くする電子書籍リーダーです。3色でお求めいただけます。

特色

ブレイン SP 電子書籍リーダーは、これまでになく滑らかで素早い反応をもたらす、ストレスなくページをめくることができます。さらに、付属のタッチペンまたはソフトウェアのキーボードを使って文章に線を引いたり電子書籍上にメモをとったりすることができます。メモは自由に並べ替えること

ができるので、特定のメモを難なく見つけることができます。リスト上のメモをクリックすれば、そのメモを書いたページに飛ぶことができます。他のコージー電子製の電子書籍リーダーと同様に、長時間使用できる電池と大容量のストレージ（32ギガバイトまたは64ギガバイト）を備えています。ただし、防水機能はありません。

強み

オーディオブック：ヘッドフォンまたは内蔵のスピーカーでオーディオブックを聞くことができます。
 明るさの自動調整：内蔵センサーが周囲の明るさを感知し、明度を調整します。これにより、電車でも公園のベンチでもベッドの中でも快適に読書を行うことができます。
 新しい本のお勧め：あなたの選択に基づいて、好みに合いそうな本を紹介いたします。
 スキャンデータの利用：自分の書籍をオフィスにお送りいただければ、電子書籍の形のスキャンデータをいただけます。（*お送りいただいた書籍の返却はできません。*一部の書籍は著作権上の問題で受け入れられません）

利用者のコメント

- さまざまな書籍を紹介してくれますが、その多くが興味深いです。
- 私は写真や音のない本をダウンロードしていますが、ストレージがいっぱいになりそうにありません。もっと小容量でいいのもっと安いのがあればいいと思います。
- 使いやすい！ 私は子供のころからの本好きですが、今は紙の本で読んでいた時と同じように読書を楽しんでいます。
- 一つ不満があるとすれば、防水でないことです。ビーチに持っていきたいのですが。
- メモをとって簡単に見つけられるのがとても役立ちます。たくさん書く際は付属のペンを使うよりもタイピングで入力の方が好きです。
- 眠りにつこうとする時に内蔵スピーカーでオーディオブックを聞いています。
- 暗い部屋で読書をする時にライトが明る過ぎることがあり、自分で明度を下げする必要があります。

【語句・表現】

- ・ bookshelf 「本棚」
- ・ advertisement 「広告」
- ・ present 「～を発表する、提示する」
- ・ improve 「～を向上させる」

〈特色〉

- ・ provide 「～を提供する」
- ・ smooth 「滑らかな、スムーズな」
- ・ response 「反応、応答」
- ・ flip 「～をめくる」
- ・ arrange 「～を並べる」
- ・ specific 「特定の」
- ・ tap 「～を軽くたたき、タップする」
- ・ as with ～ 「～と同様に」
- ・ long-lasting 「長持ちする」
- ・ battery 「電池」
- ・ amount 「量」
- ・ gigabyte 「ギガバイト」：記憶容量の単位。

〈強み〉

- ・ built-in 「内蔵の、組み込みの」
- ・ sensor 「センサー」

- ・ surrounding 「周囲の」
- ・ intensity 「強さ」
- ・ enable A to do 「A が～するのを可能にする」
- ・ comfortably 「快適に」
- ・ accept 「～を受け入れる」
- ・ due to ～ 「～のせいで」
- ・ copyright 「著作権」
- 〈利用者のコメント〉
- ・ a variety of ～ 「さまざまな～」
- ・ prefer 「～をより好む」
- ・ childhood 「子供の頃」
- ・ complain about ～ 「～について不満を言う」
- ・ waterproof 「防水の」
- ・ quite 「かなり」
- ・ lower 「～を下げる」

B

問1 「アスコットフィールド校内数学大会の目的は 11 ことであった」

- ① 生徒に大学で数学を研究することを奨励する
- ② 生徒に数学がどれほど興味深いのか気づいてもらう手助けをする
- ③ 生徒の計算力を効率的に向上させる
- ④ 生徒に数学の難しさを示す

正解 ⇒ ②

イギリス人学生が書いた記事の第3、4文において「しかし、数学を学ぶことは興味深く、教科書は言うまでもなく私たちの日常生活にも数学によって解ける問題が多く存在する。昨秋の10月7日、8日に、私たちの数学研究部は11年生から13年生の生徒が実生活に関わる数学の問題に答えるオンライン数学大会を開催した」とあることから、②が正解。

【語句・表現】

- ・ competition 「大会、競争」
- ・ encourage A to do 「A を～するように励ます」
- ・ realise 「～に気がつく」：イギリス式つづり。アメリカ英語では realize とつづる。
- ・ improve 「～を向上させる」
- ・ calculation 「計算」
- ・ efficiently 「効率的に、効果的に」

問2 「アスコットフィールド校内数学大会に関するある事実は 12 ことである」

- ① 参加者の10分の1以下は13年生であった
- ② 参加者の半数以上が11年生の生徒であった
- ③ 参加者は自身の答案を紙面で提出することが許されていた
- ④ 生徒たちは大会前に数学の良い成績をとる必要があった

正解 ⇒ ①

イギリス人学生が書いた記事の第6文において「この大会は120名の参加者を集めたが、その内の半数以上は12年生であり、約5分の2が11年生、13年生の参加者数はたったの10人であった」という記述より、②は誤りで①が正解。③に関しては、第5文の「各参加者は2時間以内に自身の答えをインターネット上で提出しなければならなかった」という記述より、誤り。④に関しては、該当する記述が本文中に存在しないため、不適。

【語句・表現】

- ・ fewer than ～ 「～未満」
- ・ participant 「参加者」
- ・ Year 13 「(イギリスの学制における) 13年生」：イギリスでは、Year 11は15歳から16歳、Year 12は16歳から17歳、Year 13は17歳から18歳の学年にあたる。
- ・ competitor 「競技参加者」
- ・ allow A to do 「A が～するのを許可する」
- ・ submit 「～を提出する」

問3 「参加者のコメントによると、アスコットフィールド校内数学大会によってある生徒は 13 ことができた」

- ① 学校の数学のテストでよりうまくいく
- ② 数学を愛する友達を何人もつくる
- ③ 大学の入学試験に合格する
- ④ 数学は日常生活を変えることができることに気がつく

正解 ⇒ ①

記事中の参加者たちのコメントにおける2人目のRSさんの「この大会で私はもっと勉強する気になりました。大会の後、学校の数学のテストで過去最高得点をとりました」という記述から、①が正解。

【語句・表現】

- ・ enable A to do 「A が～するのを可能にする」
- ・ several 「何人かの」
- ・ entrance examination 「入学試験」
- ・ daily life 「日常生活」

問4 「アスコットフィールド校内数学大会の参加者の何人かは 14 と考えている」

- ① 来年の数学大会は中止すべきである
- ② 数学の問題は難しすぎて答えられなかった
- ③ 2時間の試験時間を変更すべきである
- ④ 答案の提出方法を再検討すべきである

正解 ⇒ ④

記事中の参加者たちのコメントにおける3人目BJさんの「大会の数学の問題は解く価値があると思いましたが、コンピューターのトラブルで自分の答えをアップロードすることができませんでした。別の提出方法があったらいいなと感じます」という記述、及び5人目DCさんの「私には自分の答えのアップロードの仕方を理解するのが難しく感じました。複雑だったので次回は変更すべきです」という記述より、④が正解。

【語句・表現】

- ・cancel「～を中止する」；過去形・過去分詞形のcancelledはイギリス式つづり。アメリカ英語ではcanceledとつづる。
- ・testing time「試験時間」
- ・reconsider「～を再検討する」

問5 「15」のコメントによって筆者の問いに答えることができる

- ① BJ & DC
- ② BJ & TM
- ③ DC & RS
- ④ DC & TM
- ⑤ LT & TM
- ⑥ LT & RS

正解 ⇒ ⑤

本文第7文より、筆者の問いは「なぜ12年生の参加者数は11年生や13年生よりも多かったのか」であり、これに対して参加者LTさんの「13年生の友達のひとは、大学の出願準備に忙しすぎて、この数学のコンテストに参加できませんでした。他の13年生にも当てはまるかもしれません」というコメント、加えて参加者TMさんの「私は11年生でこの挑戦を本当に楽しみましたが、参加登録期間後になって初めてこのイベントの存在を知ったクラスメイトが多かったのは残念でした」というコメントが参考になる。よって、⑤の組み合わせが正解。

【語句・表現】

- ・author「著者」

【全訳】

あなたは高校で数学研究部に所属している。部員たちはより多くの生徒に数学に興味を抱いてもらえるようなイベントを計画している。あなたはイギリスの学生が書いた学校の記事を見つけた。

アスコットフィールド校内数学大会

学校で数学を学ぶことが嫌いな生徒もいる。特に試験期間中に彼らが数学に悪戦苦闘している声を耳にしたり姿を目にしたりすることも多いかもしれない。しかし、数学を学ぶことは興味深く、教科書は言うまでもなく私たちの日常生活にも数学によって解ける問題が多く存在する。昨秋の10月7日、8日に、私たちの数学研究部は11年生から13年生の生徒が実生活に関わる数学の問題に答えるオンライン数学大会を開催した。各参加者は2時間以内に自身の答えをインターネット上で提出しなければならなかった。この大会は120名の参加者を集めたが、その内の半数以上は12年生であり、約5分の2が11年生、13年生の参加者数はたったの10人であった。なぜ12年生の参加者数は11年生や13年生よりも多かったのか。以下の参加者たちのコメントがこの問いに答える手助けになるかもしれない。

参加者のコメント

LT： 13年生の友達のひとは、大学の出願準備に忙しすぎて、この数学のコンテストに参加できませんでした。他の13年生にも当てはまるかもしれません。

RS： この大会で私はもっと勉強する気になりました。大会の後、学校の数学のテストで過去最高得点をとりました。

- BJ： 大会の数学の問題は解く価値があると思いましたが、コンピューターのトラブルで自分の答えをアップロードすることができませんでした。別の提出方法があったらいいと感じます。
- TM： 私は11年生でこの挑戦を本当に楽しみましたが、参加登録期間後になって初めてこのイベントの存在を知ったクラスメイトが多かったのは残念でした。
- DC： このような特別なイベントを開催してもらいありがとうございます。私には自分の答えのアップロードの仕方を理解するのが難しく感じました。複雑だったので次回は変更すべきです。

【語句・表現】

- ・dislike「～を嫌う」
- ・struggle with～「～に苦戦する」
- ・especially「特に」
- ・period「期間」
- ・A as well as B「Bは言うまでもなくAも、Bと同様にAも」
- ・related to～「～に関連する」
- ・within「～以内に」
- ・gather「～を集める」
- ・more than～「～以上」
- ・half「半分」
- ・participate「参加する」
- ・below「以下に」
- ・help to do「～するのに役立つ」
- ・take part in～「～に参加する」
- ・be busy doing「～するのに忙しい」
- ・prepare for～「～の準備をする」
- ・application「応募、申請」
- ・be the case with～「～に当てはまる」
- ・motivate A to do「Aを動機づけて～させる」
- ・ever「今までに」
- ・worth「～の価値がある」
- ・upload「～をアップロードする」
- ・due to～「～のせいで、～が原因で」
- ・wish (that) S V「～を願う」：事実と反するあるいは可能性が低い願望を表し、thatに続く文では仮定法を用いる。
- ・it's a pity (that) S V「～は残念なことである」
- ・notice「～に気がつく」
- ・entry「参加登録」
- ・complicated「複雑な」

第3問

問1 「食べるのに安全なハンバーガーを用意するためには、16 必要がある」

- ① 少し脂肪分のある肉を選ぶ
- ② ビーフパティを十分な時間加熱する
- ③ 牛ひき肉を塩や黒コショウと十分に混ぜる
- ④ 動物の油ではなくサラダ油を使う

正解 ⇒ ②

第1段落第8～9文に「食中毒を防ぐためにパティを確実によく加熱してください。推奨される加熱時間はおよそ10分です」とあることから、②が正解。脂肪分のある肉を選ぶのはハンバーガーをおいしくするためであり、安全性とは関係がないため、①は誤り。牛ひき肉を塩や黒コショウと十分に混ぜるのはパティがバラバラにならないようにするためなので、③も誤り。サラダ油については記述がないため、④も誤り。

【語句・表現】

- ・ prepare 「～を用意する」
- ・ contain 「～を含む」
- ・ heat 「～を加熱する」
- ・ ground beef 「牛ひき肉」
- ・ salt 「塩」
- ・ pepper 「コショウ」
- ・ salad oil 「サラダ油」

問2 「アドバイスの従うなら、どのようにハンバーガーを作るべきか」 17

①

ハンバーガーバンズ

ビーフパティ

ケチャップ, マヨネーズ

レタス, トマト, タマネギ

ハンバーガーバンズ

②

ハンバーガーバンズ

ビーフパティ

レタス, トマト, タマネギ

ケチャップ, マヨネーズ

ハンバーガーバンズ

③

ハンバーガーバンズ

ケチャップ, マヨネーズ

ビーフパティ

レタス, トマト, タマネギ

ハンバーガーバンズ

④

ハンバーガーバンズ

レタス, トマト, タマネギ

ビーフパティ

ケチャップ, マヨネーズ

ハンバーガーバンズ

正解 ⇒ ②

具材の順序については第2段落に書かれている。「トーストしたハンバーガーバンズの下半分にはトマトケチャップとマヨネーズを塗り広げて、バンズの上に野菜を乗せます」より、下のバンズの上がケチャップとマヨネーズ、その上が野菜だと分かる。次に「そしてその上にビーフパティを乗せます。最後に一番上にハンバーガーバンズの上半分を乗せ」という記述より、野菜の上がビーフパティだと分かる。したがって、適切なのは②だ。

【語句・表現】

- ・ follow 「～に従う」
- ・ hamburger bun 「ハンバーガーバンズ」
- ・ patty 「パティ」
- ・ ketchup 「ケチャップ」
- ・ mayonnaise 「マヨネーズ」
- ・ lettuce 「レタス」

【全訳】

あなたはシドニーの高校で学んでいます。調理実習の準備をするために教科書を読んでいるところです。

ハンバーガーの作り方

まずはバーガーパティを作る必要があります。いくら脂肪分を含んだ牛ひき肉を用意するのが大切ですが、これによりハンバーガーがよりジューシーになります。牛ひき肉に塩と黒コショウを加えて、それらが見えなくなるまで混ぜます。もし十分に混ざっていないと、焼いている間にビーフパティがバラバラになってしまいます。そして牛ひき肉をフライパンに入れ、2分の1インチの厚さのパティになるように軽く押し広げます。茶色くなるまで焼きます。食中毒を防ぐためにパティを確実によく加熱してください。推奨される加熱時間はおよそ10分です。

提供する前に、トーストしたハンバーガーバンズの下半分にはトマトケチャップとマヨネーズを塗り広げて、バンズの上に野菜を乗せます。野菜の順序は問いません。マヨネーズに含まれる油分が、バンズが野菜の水分を吸収するのを防ぎます。そしてその上にビーフパティを乗せます。最後に一番上にハンバーガーバンズの上半分を乗せ、ハンバーガーと一緒に軽く押し付けます。

【語句・表現】

- ・ prepare for ~ 「～に備える」
- 〈第1段落〉
- ・ juicy 「汁気が多くておいしい、ジューシーな」
 - ・ fall apart 「バラバラになる」
 - ・ fry 「～を焼く」
 - ・ gently 「優しく」
 - ・ 1/2-inch-thick 「2分の1インチの厚みの」
 - ・ prevent 「～を防ぐ」
 - ・ food poisoning 「食中毒」
 - ・ make sure S V 「～するのを確実にする」
 - ・ well-done 「よく焼かれた」
 - ・ recommend 「～を勧める」
- 〈第2段落〉
- ・ serve 「提供する」
 - ・ spread A with B 「AにBを塗る」
 - ・ order 「順番」

- ・matter 「重要である」
- ・keep A from *doing* 「Aが～するのを防ぐ」
- ・absorb 「～を吸収する」
- ・place 「～を置く」
- ・lightly 「軽く」

第4問

問1 「コメント(1)に基づくと、どの文を加えるのが最適か」 18

- ① 博物館は自分たちがこのことの責任を負うべきだと認めている。
- ② 博物館は適切な環境を用意することでこれを防いでいる。
- ③ 博物館はこのことを多くの人に知らせようとしている。
- ④ 博物館はこれを生じさせるために特別な技術を用いている。

正解 ⇒ ②

空所の前の文は「世界の各地域にはたくさんの遺産が存在しているが、適切に手入れをしなければ、それらはすぐに壊れて美しさを失ってしまうだろう」となっており、これが各選択肢にある *this* の指す内容だと言える。後ろには「したがって、博物館は私たちの過去を守る存在だと言える」という内容が続いていることから、空所には前文の内容に対して博物館がどのように対処しているかを述べた文を入れるべきである。また、第2段落第1文に「第一に、博物館は文化的、歴史的に価値のあるものを良い状態で保存している」とあることから、博物館は適切な手入れをすることで遺産が「すぐに壊れて美しさを失ってしまう」のを防いでおり、「私たちの過去を守る存在」になっていることがわかる。したがって、正解は②。遺産が失われてしまうことの責任が博物館にあるという記述はないため、①は誤り。③や④を入れても「博物館が私たちの過去を守る存在」という内容にうまくつながらない。

【語句・表現】

- ・based on ~ 「～に基づいて」
- ・sentence 「文」
- ・add 「～を加える」
- ・admit 「～を認める」
- ・be to blame for ~ 「～に対して責任がある」
- ・prevent 「～を防ぐ」
- ・provide 「～を与える、用意する」
- ・proper 「適切な」
- ・technique 「技術」

問2 「コメント(2)に基づくと、どの表現を加えるのが最適か」 19

- ① その結果
- ② 例えば
- ③ 対照的に
- ④ さらに

正解 ⇒ ②

これも空所の前後を確認しよう。後ろの文の「古代エジプトのつばや道具を見ると、当時の生活につい

て、単に書物を読むよりも、生き生きと想像することができる」というのは、前文の「自分が目にしているものを通して歴史について学ぶことができる」という内容の具体例とすることができる。したがって、正解は②。

【語句・表現】

- ・expression 「表現」

問3 「コメント(3)に基づくと、どれがトピックセンテンスを書き換える最適の方法か」 20

- ① 大都市に位置している
- ② 新しい流行を生み出す
- ③ 地域の雇用を改善する
- ④ 観光業の増加につながる

正解 ⇒ ④

topic sentence 「トピックセンテンス」とは、その段落の概要を端的に表した文のことだ。この段落では、観光都市の多くに博物館があり人気の観光地になっていること、文化と芸術の街としてのイメージを向上させることに寄与することが挙げられている。これらの内容を最も適切にまとめたのは、観光業への利点について触れている④だ。本文中では、観光都市の例としてパリやロンドン、ニューヨークといった大都市が挙げられているが、大都市に位置していることが博物館の役割というわけではないので①は誤り。

【語句・表現】

- ・appropriate 「適切な」
- ・rewrite 「～を書き直す」
- ・be located 「位置している」
- ・create 「～を生み出す、創造する」
- ・trend 「流行」
- ・improve 「～を改善する」
- ・local 「地域の」
- ・employment 「雇用」
- ・lead to ~ 「～につながる、～をもたらす」
- ・tourism 「観光業」

問4 「コメント(4)に基づくと、どれが最も適切な置き換えか」 21

- ① 地域社会に利益をもたらす
- ② 世界中から最新の情報を集める
- ③ 見物客が過去について学ぶ助けとなる
- ④ 標準的な教育制度を提供する

正解 ⇒ ③

最終段落では全体の結論を述べており、「貴重なものを将来の世代に伝える」というのが第2段落、「世界中から観光客を集める」というのが第4段落の要旨となっており、下線部(4)は第3段落のまとめとなればよいことがわかる。第3段落では、展示物を通して見物客が歴史について学べるという、博物館の教育的な役割について言及している。これを端的に表したのは③だ。

【語句・表現】

- ・ replacement 「置き換え」
- ・ profit 「利益」
- ・ community 「共同体」
- ・ collect 「～を集める」
- ・ latest 「最新の」
- ・ standard 「標準的な」
- ・ educational system 「教育制度」

【全訳】

英語の授業であなたは自分の興味のあるテーマについて作文を書いています。これはあなたが書いた直近の原稿です。あなたは今、先生のコメントに基づいて修正をしているところです。

博物館の役割

多くの人はしっかりと認識していないものの、博物館は社会においてさまざまな役割を果たしている。日本には4,000以上の博物館あるいは同様の目的を持った施設があり、1年で合計30万人ほどが博物館を訪れていると言われている。この作文は博物館が果たしている3つの主な役割について論じる。

第一に、博物館は文化的、歴史的に価値のあるものを良い状態で保存している。世界の各地域にはたくさんの遺産が存在しているが、適切に手入れをしなければ、それらはすぐに壊れて美しさを失ってしまうだろう。⁽¹⁾ したがって、博物館は私たちの過去を守る存在だと言うことができる。

加えて、博物館は収集物を適切な配置で展示することで教育的な役割を果たしている。見学者は自分が目にしてるものを通して歴史について学ぶことができる。⁽²⁾ 古代エジプトのつぼや道具を見ると、当時の生活について、単に書物を読むよりも、生き生きと想像することができる。

最後に、博物館は⁽³⁾素晴らしい場所だ。実際、パリやロンドン、ニューヨークといった世界的に有名な観光都市には有名な博物館があり、最も人気のある観光地の一つとなっている。博物館は都市にお金をもたらすだけでなく、文化と芸術の都市としてイメージを高めている。

結論として、博物館は貴重なものを将来の世代に伝え、⁽⁴⁾収集物を見せ、世界中から観光客を集めるという点で社会にとって有益なものである。

総評:

あなたの作文は良くなっていますね。この調子で頑張ってください。(博物館はよく訪れますか。お気に入りがあればぜひ教えてください!)

【語句・表現】

- ・ draft 「原稿」
- ・ work on ~ 「～に取り組む」

- ・ revision 「修正, 改訂」
- 〈第1段落〉
- ・ a variety of ~ 「さまざまな～」
- ・ role 「役割」
- ・ fully 「十分に」
- ・ be aware of ~ 「～に気づいている」
- ・ facility 「施設」
- ・ similar 「似た」
- ・ purpose 「目的」
- 〈第2段落〉
- ・ preserve 「～を保存する」
- ・ valuable 「価値のある」
- ・ heritage 「遺産」
- ・ keeper 「保持者, 管理人」

- 〈第3段落〉
- ・ in addition 「加えて, さらに」
- ・ display 「～を展示する」
- ・ arrangement 「配置, 配列」
- ・ pot 「つぼ, かめ」
- ・ ancient 「古代の」
- ・ Egypt 「エジプト」
- ・ imagine 「～を想像する」
- ・ vividly 「生き生きと, 鮮明に」

- 〈第4段落〉
- ・ in fact 「実際に」
- ・ destination 「目的地」
- ・ tourist 「観光客」
- ・ point out 「～を指摘する」
- 〈第5段落〉
- ・ in conclusion 「結論として, 要するに」
- ・ beneficial 「有益な」
- ・ in that S V 「～という点で」
- ・ hand down 「～を(後世に)残す, 伝える」
- ・ generation 「世代」
- ・ attract 「～を引きつける」

第5問

問1 「スタローンは と考えている」

- ① 怒りは十分な睡眠を取るとより良くコントロールできる
- ② 怒りは普通の状態ではない
- ③ 空腹の時に怒りを感じやすい
- ④ うつ状態の時に怒りを感じ続けることがある

正解 ⇒ ④

スタローンの意見に関する設問なので、一つ目の記事を参照する。第5段落第1文に「怒りが続くのは、

時にうつ病の兆候である」とあるため、④が正解。睡眠や空腹時について述べられている箇所はないので、①と③は誤り。第4段落第1文に「怒るのは普通のことだ」とあるので、②も誤り。

【語句・表現】

- ・ mental 「精神の、心理的な」
- ・ condition 「状態」
- ・ be likely to do 「～しやすい」
- ・ depressed 「うつ状態の」

問2 「スタローンによると [23] のような脳の感情に関する部分は10代の頃によく発達するが、一方で [24] のような思考に関する部分は違う」

- ① 扁桃体
- ② エストロゲン
- ③ 前頭前皮質
- ④ プロゲステロン
- ⑤ テストステロン
- ⑥ トリプトファン

正解 ⇒ [23] ① [24] ③

問題文に「スタローンによると」とあるので、一つ目の記事を参照する。問題文にあるような感情と思考の対比については、第2段落に記述がある。第3文に「扁桃体をはじめとする感情的な領域は、10代では（実際、生まれたときから）よく発達しているが、感情を制御する前頭前皮質はあまり発達していないことがわかっている」とあることから、10代で発達しているのは扁桃体、発達していないのは前頭前皮質だとわかる。したがって、正解は [23] が①、[24] が③。

【語句・表現】

- ・ according to ～ 「～によると」
- ・ well-developed 「よく発達した」
- ・ amygdala 「扁桃体」
- ・ oestrogen 「エストロゲン」
- ・ prefrontal cortex 「前頭前皮質」
- ・ progesterone 「プロゲステロン」
- ・ testosterone 「テストステロン」
- ・ tryptophan 「トリプトファン」

問3 「セロトニンとは [25] ホルモンである」

- ① 食べ物から直接摂取できる
- ② 怒りだけでなくうつも引き起こす
- ③ 我々が悪い感情を制御するのを助けてくれる
- ④ 基本的に女性にのみ見られる

正解 ⇒ ③

セロトニンの話が出てくる二つ目の記事を参照する。第3段落第1～2文で「私たちが制御できるもう一つのホルモンは、幸せを感じさせるセロトニンである。セロトニンは脳内で生成され、気分の調節に重

要な役割を果たしている」と述べられていることから、③が正解。第4段落第3文に「食べ物から直接セロトニンを摂取することは不可能」とあるため①は誤り。②の怒りやうつを引き起こすホルモンや、④の女性にのみ見られるホルモンについては二つ目の記事には言及がないため、これらも誤り。

【語句・表現】

- ・ hormone 「ホルモン」
- ・ directly 「直接に」
- ・ cause 「～を引き起こす」
- ・ depression 「うつ」
- ・ help A to do 「Aが～するのを手助けする」
- ・ basically 「基本的に」
- ・ female 「女性」

問4 「筆者は二人とも [26] という点で同意している」

- ① 怒りはしばしば運動不足につながる
- ② 長期にわたる怒りは避けられるべきだ
- ③ 男性よりも女性の方がうつになりやすい
- ④ たとえ世界が敵対していても、我々は怒ってはならない

正解 ⇒ ②

二つ目の記事の第1段落第1文に「頻繁に、あるいは常に怒りを感じるのは良いことではないというスタローン氏の考えに私は賛同する」とあるため、②が正解。①、③、④と合致する記述はどちらの記事にもないため、誤り。

【語句・表現】

- ・ lead to ～ 「～につながる」
- ・ lack 「不足」
- ・ long-term 「長期の」
- ・ ought to do 「～すべきである」
- ・ suffer from ～ 「～に苦しむ」
- ・ even if 「たとえ～だとしても」
- ・ be against ～ 「～に反対している」

問5 「二人の著者の意見が異なるのは、 [27] かどうかだ」

- ① 少年も少女も怒りについて同じ仕組みを持っている
- ② 常に怒りを感じるのは悪いことである
- ③ アドレナリンを多く含む食品はうつに対して効果的である
- ④ 意志の強さによりホルモンを制御できる

正解 ⇒ ④

二つ目のウィリス教授の記事の第1段落第3～4文に「しかし、意志の力でホルモンを制御することはできないという言葉には驚いた。人間にはホルモンを制御する能力があることを証明する様々な実験があり、これは怒りに効果的に対処する上で最も重要なことの一つである」とあり、ウィリスがスタローンと意見が異なる点が述べられているため④が正解。①は、一つ目の記事の第3段落第2～3文に「主に男性

ホルモンであるテストステロンが増加すると、攻撃的になり、暴れたり戦ったりしたくなることがある。また、エストロゲンとプロゲステロン値の変動は、少女の感情や行動に影響を与え、時にはPMSと呼ばれる非常に苦しい状態につながることもある」とあり、性差について言及されているが、ウィリスがこれに反対している記述はないため誤り。②については、二つ目の記事の第1段落第1文に「頻繁に、あるいは常に怒りを感じるのには良いことではないというスタローン氏の考えに私は賛同する」とあり、両方の著者が同意していることであるため誤り。③は、二つ目の記事の第2段落第4文に、アドレナリンは「私たちの体を活動的にするホルモンである」と説明があり、食品に含まれるという記述はなく、一つ目の記事には関連する内容がないため誤り。

【語句・表現】

- ・ whether 「～かどうか」
- ・ mechanism 「仕組み」
- ・ all the time 「常に」
- ・ adrenaline 「アドレナリン」
- ・ effective 「効果的な」
- ・ strength 「強さ」

【全訳】

先生から、怒りに関する記事を2つ読むように言われています。学んだことについて次の授業で話します。

怒りを感じる

アーノルド・スタローン
ロック・シティ高校 科学教師

ほとんど誰でも怒りを感じることはある。それはあなたが悪い人間だという意味ではない。怒りの感情の中には、自分が制御できないことから来るものもある。最善を尽くしてもうまくいかなかったり、不公平に思えることで面倒に巻き込まれたりすると、本当に世界が自分に敵対しているように感じることもある。

怒りは本能的な反応であり、脳の感情的な部分、特に扁桃体と呼ばれる部分から始まる、非常に強力な自動反応である。扁桃体は即座に反応し、脳のより「思考的」な部分が介入して合理化したり制御したりする前に、怒りの高まりを感じる。扁桃体をはじめとする感情的な領域は、10代では（実際、生まれたときから）よく発達しているが、感情を制御する前頭前皮質はあまり発達していないことがわかっている。

感情はホルモンの影響も受けるが、ホルモンの一部は思春期の間男女ともに乱高下する。主に男性ホルモンであるテストステロンが増加すると、攻撃的になり、暴れたり戦ったりしたくなることがある。また、エストロゲンとプロゲステロン値の変動は、少女の感情や行動に影響を与え、時にはPMSと呼ばれる非常に苦しい状態につながることもある。ホルモンは強力な重要な化学物質だが、意志の力で制御することはできない。自分の反応をコントロールできるようにはなるが、自分の感情の一部が体内や脳内の化学物質によって引き起こされていることを理解すれば、いつ気分が悪くなるかを予測しやすくなり、自分の反応を制御しやすくなる。また、物事には物理的な原因があると知るだけで、それに対するストレスが軽減されることもある。

だから、怒るのは普通のことだ。しかし、頻繁に、あるいは常に怒りを感じることは良いことではない。集中力が散漫になり、友人や家族との関係にも悪影響を及ぼしかねない。怒りを制御できず、他人や自分を傷つけてしまうといったことは、絶対に避けたいことだ。

怒りが続くのは、時にうつ病の兆候である。また、調査によると、少年や男性は怒りによってうつ病を示すことがおそらく少女や女性より多い。女性のうつ病の方がよりはっきりと悲しみや落ち込みのように見える。

【出典】 Text © 2014 Nicola Morgan From THE TEENAGE GUIDE TO STRESS Written by Nicola Morgan Reproduced by permission of Walker Books Ltd, London, SE11 5HJ www.walker.co.uk

幸せホルモン
ハリソン・ウィリス
ロック・シティ大学 教授

頻繁に、あるいは常に怒りを感じるのには良いことではないというスタローン氏の考えに私は賛同する。他人と協力し、良好な関係を維持するためには、怒りとうまく付き合うことを学ばなければならない。しかし、意志の力でホルモンを制御することはできないという言葉には驚いた。人間にはホルモンを制御する能力があることを証明する様々な実験があり、これは怒りに効果的に対処する上で最も重要なことのひとつである。

ホルモンを制御する方法とは？ これは、重要な試験やテニスの試合の前の自分を想像するとわかりやすい。その出来事に集中すればするほど、私たちはよりエネルギーで自信に満ちた気分になる。これはアドレナリンの作用であり、私たちの体を活動的にするホルモンである。

私たちが制御できるもう一つのホルモンは、幸せを感じさせるセロトニンである。セロトニンは脳内で生成され、気分の調節に重要な役割を果たしている。したがって、セロトニンが不足すると、不安や怒りを引き起こすかもしれない。

体内のセロトニン量を増やす方法を二つ紹介しよう。一つ目は、タンパク質を多く含む食品を選ぶことである。食べ物から直接セロトニンを摂取することは不可能だが、脳内でセロトニンに変化するアミノ酸の一種、トリプトファンを摂取することはできる。トリプトファンは、豆腐やチーズなどの高タンパク食品に多く含まれている。二つ目は、定期的な運動だ。適度な運動は、トリプトファンを血中に放出させるように体に働きかける。これにより、他のアミノ酸も少なくなり、脳内でより多くのセロトニンが生成されやすい環境が整う。一つ覚えておきたいのは、太陽の光を浴びて過ごすセロトニンの量が増えるということだ。したがって、運動するときは暗くなる前、理想的には午前中がよいだろう。

以上のことから、体内の幸福ホルモンであるセロトニンの量は、制御できることがわかる。したがって、食生活を変え、運動をするというあなたの意志は、怒りを処理するのに役立ち、協調的で社会的な生活を送るための第一歩となり得るのである。

【語句・表現】

- ・ article 「記事」
- 〈スタローンの記事〉
- 〈第1段落〉
- ・ pretty much 「ほとんど」
- ・ be in control 「(感情などを) 制御している」
- ・ it feels as if S V 「～のように感じられる」
- ・ go wrong 「うまくいかない」
- ・ unfair 「不公平な」
- 〈第2段落〉
- ・ instinctive 「本能的な」
- ・ reaction 「反応」
- ・ automatic 「自動の」
- ・ response 「反応」
- ・ particularly 「特に」
- ・ respond 「反応する」
- ・ instantly 「即座に」

- ・ surge 「高まり」
- ・ step in 「干渉する」
- ・ rationalize 「～を合理化する」
- ・ in fact 「実際には」

〈第3段落〉

- ・ affect 「～に影響を与える」
- ・ wildly 「激しく」
- ・ adolescence 「青年期」
- ・ male 「男性の」
- ・ aggression 「攻撃」
- ・ desire 「欲望」
- ・ lash out 「襲いかかる」
- ・ swing 「変化」
- ・ behavior 「行動」
- ・ distressing 「苦しい」
- ・ chemical 「化学物質」
- ・ will-power 「意志の力」
- ・ realize that S V 「～に気がつく」
- ・ predict 「～を予測する」
- ・ physical 「物理的な」

〈第4段落〉

- ・ distract 「～の気をそらす」
- ・ focus 「集中する」
- ・ properly 「適切に」
- ・ harm 「～を害する」
- ・ relationship 「関係」
- ・ definitely 「絶対に」

〈第5段落〉

- ・ sign 「兆候」
- ・ research 「研究」
- ・ suggest that S V 「～を示唆する」
- ・ express 「～を示す」
- ・ obviously 「明らかに」

〈ウイリスの記事〉

〈第1段落〉

- ・ cooperate with ～ 「～と協力する」
- ・ maintain 「～を維持する」
- ・ deal with ～ 「～に対処する」
- ・ statement 「記述, 発言」
- ・ various 「様々な」
- ・ experiment 「実験」
- ・ prove 「～だと証明する」
- ・ ability 「能力」
- ・ cope with ～ 「～に対処する」
- ・ effectively 「効果的に」

〈第2段落〉

- ・ match 「試合」
- ・ focus on ～ 「～に集中する」

- ・ energetic 「活気に満ちた」
- ・ confident 「自信に満ちた」
- ・ effect 「効果, 影響」
- ・ active 「活動的な」

〈第3段落〉

- ・ produce 「～を作り出す」
- ・ key 「重要な」
- ・ role 「役割」
- ・ regulate 「～を統制する」
- ・ mood 「気持ち」
- ・ therefore 「したがって」
- ・ anxiousness 「不安」

〈第4段落〉

- ・ take in ～ 「～を摂取する」
- ・ amino acid 「アミノ酸」
- ・ regular 「定期的な」
- ・ workout 「運動」
- ・ release 「～を放出する」
- ・ blood 「血液」
- ・ create 「～を作り出す」
- ・ sunshine 「日光」
- ・ ideally 「理想としては」

〈第5段落〉

- ・ above 「上記のこと」
- ・ diet 「食事」
- ・ handle 「～に対処する」
- ・ lead a ～ life 「～な生活を送る」
- ・ cooperative 「協力的な」
- ・ social 「社会的な」

第6問

問1 「28」に入る最も適切な選択肢を選びなさい

- ① 彼は将来何をするのか見つけようと決めた
- ② 彼はストレスのある生活から逃れたかった
- ③ 彼は遠いところに住む祖母に会いに行く計画をしていた
- ④ 彼は物語の登場人物と似た経験をしたかった

正解 ⇒ ④

ジョージが一人でヒッチハイクの旅に出た理由は第4段落に述べられている。お気に入りの物語『ジョセフ・ブロンソンの夏の冒険』の主人公ジョセフが16歳の時に一人でヒッチハイクの旅をした話に夢中になって、自分も同じような旅をしたかったという内容が書かれている。したがって正解は④。第5段落で、車に乗せてくれた男女が旅の目的を尋ねた際に、ヨークに住む祖母を訪ねるつもりだと答えているが、同段落第2文「実際には、旅の目的はヒッチハイクをすることであり、どこへ行くかは問題でなかった」からもわかるように、これはそれらしい理由としてジョージが作り上げたものだ。

【語句・表現】

- ・ option 「選択肢」
- ・ find out 「～を見出す, 明らかにする」
- ・ escape from ～ 「～から逃れる」
- ・ stressful 「ストレスの多い」
- ・ distant 「遠くの」
- ・ experience 「経験」
- ・ similar to ～ 「～に似た」
- ・ character 「登場人物」

問2 「 29 」に入る最も適切な選択肢を選びなさい

- ① 彼に一人旅をしてたくさんの人に会うように助言した
- ② 彼になぜ両親とうまくいっていないのか尋ねた
- ③ 彼に自分の夢について考え直す機会を与えた
- ④ 彼に自分が勉強をいかに怠っていたか気づかせた

正解 ⇒ ③

トラック運転手のエラとの話は第6段落で書かれている。彼女になぜとりわけ医者になりたいのか尋ねられて、ジョージはうまく答えられなかった。さらに第8段落では、その時のエラの「自分に正直であれ」という言葉をその後も繰り返し思い返し、将来本当にしたいことは何なのか考え続けていると述べられている。ジョージはそれまでは両親の言葉をそのまま受け入れていたが、エラとの会話をきっかけに自身の気持ちを見つめ直すことになったのだ。これらを踏まえると、③が正解。

【語句・表現】

- ・ advise A to do 「Aに～するように助言する」
- ・ get along with ～ 「～と仲良くする, うまく付き合う」
- ・ opportunity 「機会」
- ・ think twice 「考え直す, よく考える」
- ・ realise 「～に気づく, ～を実感する」: イギリス式につづり。アメリカ式では realize とつづる。
- ・ lazy 「怠けた」

問3 「5つの選択肢(①～⑤)から4つを選び、起こった順に並びかえなさい」

30 → 31 → 32 → 33

- ① 嘘をついたことを両親に謝った
- ② 旅行をしてもよいか両親に尋ねた
- ③ 親切的な男女の車に乗せてもらった
- ④ 医者がどのように人々を救うのかについて本を読んだ
- ⑤ 女性運転手に自分の夢について話した

正解 ⇒ ② → ③ → ⑤ → ①

第3段落に、ジョージが友達と旅行に行ってもいいかと両親に尋ね、何とか許可をもらったという記述がある。その後ヒッチハイクの旅に出て、まず男女の車に乗せてもらい(第5段落)、翌朝にはトラック運転手であるエラに送ってもらった(第6段落)。帰宅後、両親に嘘がばれて謝った。したがって、②→③→⑤→①という順番が正解。④に該当する内容は本文中に書かれていない。

【語句・表現】

- ・ rearrange 「～を並びかえる」
- ・ order 「順序」
- ・ apologise 「謝る」: イギリス式につづり。アメリカ式では apologize とつづる。
- ・ hitch a ride 「(ヒッチハイクで) 車に乗せてもらう」
- ・ female 「女性の」

問4 「 34 」に入る最も適切な選択肢を選びなさい

- ① 彼は一人旅をすることの危険性に十分には気づいていなかった
- ② 彼は旅行のことで両親に対して正直ではなかった
- ③ 彼は自分の将来の仕事についてあまり真剣に考えていなかった
- ④ 彼は自分の夢を実現させられるほど懸命に取り組んでいなかった

正解 ⇒ ③

第6段落で、エラからなぜ医者を目指していたかを問われうまく答えられなかった時に、そのような問いについてこれまであまり考えてこなかったことに気づいたと述べられている。両親に言われる通りに医者を目指していたが、エラとの会話により自分の決心に自信が持たなくなった。このことを端的に表している③が正解。

【語句・表現】

- ・ be aware of ～ 「～に気づいている」
- ・ honest 「正直な」
- ・ seriously 「真剣に」
- ・ career 「仕事, キャリア」
- ・ come true 「実現する」

問5 「 35 」と「 36 」に入る最も適切な選択肢を2つ選びなさい(順番は問わない)

- ① 見知らぬ人が私たちの考え方に大きな影響を与えることがある。
- ② 他の人を説得する際には自信が重要である。
- ③ 他人に自分の目標を表明するのはそれを達成する良い方法だ。
- ④ 一つの目標にこだわる方が成功につながりやすい。
- ⑤ 将来を決定する際には自分の気持ちに従うべきだ。

正解 ⇒ ①・⑤

この物語では、ジョージが一人旅中に会ったエラとの会話を通して自分の将来についてより深く考えるようになったことが大きな主題となっている。初対面のエラがジョージの考え方に大きな影響を与えたことができるので、一つ目の正解は①だ。また、「自分に正直であれ」という言葉からもわかる通り、エラはジョージに将来の道を自分で決めるべきだというメッセージを送った。この内容を表している⑤が二つ目の正解。「他の人を説得する」「他人に自分の目標を表明する」「一つの目標にこだわる」という内容は、この物語から読み取れることではないので、②・③・④は誤り。

【語句・表現】

- ・ stranger 「見知らぬ人」
- ・ effect 「影響, 効果」

- ・ confidence 「自信」
- ・ persuade 「～を説得する」
- ・ express 「～を表す」
- ・ achieve 「～を達成する」
- ・ stick to ～ 「～にこだわる, 固執する」
- ・ be likely to do 「～しそうだ, ～する可能性が高い」
- ・ determine 「～を決定する」

【全訳】

あなたの英語の先生は、クラスみんなに興味深い物語を見つけ、メモを使って討論グループに発表するよう言いました。あなたはイギリスの高校生が書いた物語を見つけました。

自分に正直であれ

ジョージ・トーマス

15歳の誕生日の夕食時に、僕は両親の前でスピーチをした。「今年は良い成績を取るために勉強をもっと頑張るよ」と僕は言った。父は満足そうにうなずきながら、「今はお前の人生で重要な時だ、ジョージ。来年の試験に向けて頑張りなさい」と言った。続けて父は、最近のテストでの僕のひどい成績を指摘し、正直で勤勉であることの大切さを強調した。その結果、みんなが食べ始める頃には食事はすっかり冷めてしまっていた。夕食の席で、父と母は主に僕のテストの点数と将来の仕事について話し、僕はそれを静かに聞いていた。

僕は翌年、16歳の年に国家試験を受けることになっていた。その試験は高等教育に進みたい学生にとって重要なものだ。小さい頃からずっと将来の夢は医者になることだったので、その試験は僕にとって非常に大きな意味を持つものだった。両親は僕の学業についてとても、おそらく僕以上に、気にしていた。「授業中は先生の話をしっかり聞いて、家では授業の復習を毎回するんだよ」「わからないところを放っておいてはいけませんよ」「疲れているの？ 身体と心をリフレッシュすることも大切よ」…たぶんこれらは全部正しくて、僕は「うん、わかっているよ」と答えるしかなかった。

夏休みがもうすぐそこに来ていた時、僕は両親に友達と2泊3日の旅行に出てもいいか尋ねた。母は眉をひそめて言った。「けど夏の学習計画を立てたじゃない。週に3回家庭教師があるのよ。自分で復習する時間も必要だし…」「3日だけだよ」と僕は言った。「心をリフレッシュするのも大事だっていつも言っているじゃないか。気分転換になって勉強に集中できるようになるはずだよ」両親は、計画に遅れないという条件で、ついに旅行に行くことを許してくれた。

8月のある朝、僕は旅行に出発した — 一人で。僕は16歳になったら、お気に入りの物語の1つである『ジョセフ・ブロンソンの夏の冒険』の主人公であるジョセフのように一人旅をずっと心に決めていた。イングランドの田舎に住む16歳の少年ジョセフは、一人でヒッチハイクをしながら国中を巡った。途中でさまざまな人に会い、人生や友情、愛についてたくさんを学んだ。9歳のときに初めて読んでから、僕は同じように旅をすることを夢見ていた。両親には一人で行くことを告げなかった。もし告げたら許してはくれないだろうから。罪悪感があったが、長年の野望を実現することの方がずっと大切だったのだ。

家を出た後、僕は隣町のエイズビーへと歩いて行き、道端で「ヨーク」と書かれた標識を掲げた。実際には、旅の目的はヒッチハイクをすることであり、どこへ行くかは問題でなかった。ヨークはそこを走る車両にとって一般的な目的地だと思っただけだ。何十台もの車が通り過ぎるのを見送った後、青色のファミリーカーが目の前に止まった。車の中には中年の男女がいた。たぶん両親より少し若いくらいだ。運転手の男性が「ホールデンに向かっているんだ。それでいいかな?」と言った。ホールデンはヨークに行く途中にある小さな町だ。僕はお礼を言って車に乗り込んだ。2人になぜヒッチハイクをしているのか尋ねられたとき、僕はヨークに住む祖母を訪ねるのだと答えた。親切な男女と話していると、自分の夢の1つが叶いつつあることに興奮してきた。ホールデンに着くと、辺りを歩き回り、別の親切な運転手の車でヨーク郊外まで送ってもらい、そこで小さなホステルに泊まった。

翌朝、大きな運送トラックが止まって僕を拾ってくれた。驚いたことに、運転手は若い女性 — おそ

らく20代後半か30代前半 — だった。運転手のエラは気さくで話し好きな女性だった。僕がトラックに乗り込むとすぐに、まるで古くからの友人のように会話を始めた。彼女はいろいろなことについて話した — 気難しい顧客や3か月になるかわいい甥っ子のことから、最近の異常な暑さに至るまで。僕は彼女の話を楽しく聞き、気づくと自分のことについても話していた。将来の夢が医者だと言った時、エラは「なぜ医者なの?」と尋ねた。僕は「困っている人を助けたいんです」と答えた。彼女は再び、「それで?」と尋ねた。彼女が何を言いたいのかわからず、僕は答えられなかった。エラは、「つまり、困っている人を助けるためなら他にもたくさんの職業があるでしょう。その中でも医者になりたいのはどうして?」と言った。「なるほど。えっと…」その時、僕はこういった種類の問いについてあまり考えたことがなかったことに気づいた。両親はいつも医者になるよう言っていたし、僕は疑いなくそれを受け入れていた。何と云っていいかわからず途方に暮れて、自分の決心に自信が持てなくなってきた。彼女は僕の心を読んでいるかのように、「あなたについてはほとんど知らないから、私が言えるのは自分に正直であれということくらいだよ。あなたが自分の道を選ぶのよ」と言った。僕は「なら、あなたはどのようにして運転手を自分の道に選んだのですか?」と尋ねた。「大きな車を運転しているとぞくぞくするの。それだけよ。両親は最初は私がトラックの運転手になるのに反対したけど、いまは仕方ないと諦めているわ」と、彼女は笑って答えた。

エラにさよならを言った後、別の2人の運転手が車に乗せてくれて、無事に家に帰ることができた。予想通り、僕の嘘はすぐに両親にばれて、ひどく怒られた。「正直でいなさい」といつも言っているでしょう。どうしてわからないの?」僕は自分がしたことについて謝ることしかできなかった。自分が完全に悪いことはわかっていた。両親から、もう夏休みの間は許可なく外出してはいけませんと言われた。僕は残りの夏を家で勉強して過ごした。

今、僕は高校生だ。エラとトラックで話してから、彼女の「自分に正直であれ」という言葉を繰り返し思い出してきた。自分は本当は何をしたいのか — 僕をぞくぞくさせるのは何なのか — についてずっと考え続けている。機械やロボットがどう動くのかに興味があるから、機械学やロボット工学を仕事にするのも良いかもしれない。同時に、医者になることも依然として魅力的だ。今考えていることについて両親に伝えていないが、いつか僕の本当の決心について伝えるつもりだ。

あなたのメモ:

自分に正直であれ

著者について (ジョージ・トーマス)

- ・ 将来医者になるために懸命に勉強している
- ・ 28 から一人でヒッチハイクに出た

他の重要人物

- ・ ジョージの両親: ジョージの勉強に厳しく、彼の将来をひどく心配している
- ・ エラ: トラックの運転手で、29

彼の忘れられない夏の旅にまつわる出来事

30 → 31 → 32 → 33

ジョージがエラとの会話の後で気づいたこと

- ・ 34

この物語から私たちが学べること

- ・ 35
- ・ 36

【語句・表現】

- ・ present 「～を発表する」
- ・ note 「メモ」

〈第1段落〉

- ・ grade 「成績」
- ・ nod 「うなづく」
- ・ satisfaction 「満足」
- ・ go on to *do* 「続けて～する」
- ・ point out 「～を指摘する」
- ・ stress 「～を強調する」
- ・ diligent 「勤勉な」
- ・ by the time S V 「～するまでに」

〈第2段落〉

- ・ national 「国家の」
- ・ go on to ～ 「～に進学する, 進む」
- ・ higher education 「高等教育」
- ・ a great deal 「大いに, 非常に」
- ・ care about ～ 「～を気にする」
- ・ schoolwork 「学業」
- ・ review 「～を復習する」
- ・ leave A as it is 「A をそのままにしておく」
- ・ refresh 「～をリフレッシュする, ～の気分をさっぱりさせる」

〈第3段落〉

- ・ around the corner 「間近に, すぐ近くに」
- ・ frown 「眉をしかめる, しかめ面をする」
- ・ tutor 「家庭教師, 個人教師」
- ・ concentrate on ～ 「～に集中する」
- ・ finally 「ついに, ようやく」
- ・ on condition that S V 「～するという条件で」
- ・ fall behind schedule 「予定より遅れる」

〈第4段落〉

- ・ set out 「出発する」
- ・ be determined to *do* 「～することを決意している」
- ・ favourite 「お気に入りの」: イギリス式のつづり。アメリカ式では favorite とつづる。
- ・ various 「さまざまな」
- ・ on the way 「途中で」
- ・ dream of ～ 「～を夢見る」
- ・ permission 「許可」
- ・ guilty 「罪の意識がある」
- ・ long-held 「長年抱いてきた, かねての」
- ・ ambition 「野望, 野心」

〈第5段落〉

- ・ sign 「標識, 表示」
- ・ in fact 「実際に」
- ・ purpose 「目的」
- ・ common 「一般的な」
- ・ destination 「目的地」
- ・ vehicle 「車両」

- ・ dozens of ～ 「何十もの～」
- ・ pass by 「通り過ぎる」
- ・ middle-aged 「中年の」
- ・ get into ～ 「～の中に入る, ～に乗り込む」
- ・ suburb 「郊外」

〈第6段落〉

- ・ van 「(荷物運搬用の)トラック, バン」
- ・ pick ～ up 「(車で)～を拾う」
- ・ to *one's* surprise 「驚いたことに」
- ・ talkative 「話し好きの」
- ・ strike up 「～を始める」
- ・ as if S V 「あたかも～であるかのように」
- ・ customer 「顧客」
- ・ nephew 「甥」
- ・ in need 「困っている, 助けが必要な」
- ・ figure out 「～を理解する」
- ・ occupation 「職業」
- ・ among others 「とりわけ, 他にもなく」
- ・ accept 「～を受け入れる」
- ・ at a loss 「途方に暮れて」
- ・ certain 「確信した」
- ・ determination 「決意, 決心」
- ・ choose 「～を選ぶ」
- ・ thrilled 「ぞくぞくした, 興奮した」
- ・ it can't be helped 「仕方がない」
- ・ reply 「返事をする」

〈第7段落〉

- ・ right away 「すぐに, ただちに」
- ・ mad 「怒った, 頭にきた」
- ・ have no choice but to *do* 「～するしかない, ～せざるを得ない」
- ・ be to blame 「責任がある, 責めを負うべきである」
- ・ totally 「完全に, 全く」
- ・ rest 「残り」

〈第8段落〉

- ・ curious 「興味がある, 知りたがっている」
- ・ mechanics 「機械学」
- ・ robotics 「ロボット工学」
- ・ at the same time 「同時に」
- ・ attractive 「魅力的な」

〈メモ〉

- ・ memorable 「記憶に残る, 忘れられない」

第7問

問1 「要点メモの 37 を埋めるのに最も適切な選択肢を選びなさい」

- ① 工場主
- ② 政府職員
- ③ 高度に訓練を受けた労働者
- ④ 技術の低い労働者

正解 ⇒ ③

第1段落で「特に織物産業において高い技術を持っていた人たち」によって、この運動が引き起こされたとあるので③が正解。①と②は運動を抑えようとしたことが、第3段落から分かる。

【語句・表現】

- ・ option 「選択肢」
- ・ summary note 「要点メモ」
- ・ owner 「所有者」
- ・ official 「職員、役人」
- ・ highly 「高度に」
- ・ trained 「訓練された」
- ・ laborer 「労働者」
- ・ unskilled 「技術をもっていない」

問2 「要点メモの 38 と 39 を埋めるのに最も適切な選択肢を2つ選びなさい(順番は問わない)」

- ① ラッダイトたちは自然環境を守るために工場を襲撃した。
- ② ラッダイトたちは自分たちの職を奪うかもしれない新しい機械を破壊した。
- ③ この運動は技術の低い労働者の新たな雇用機会を奪った。
- ④ 政府が新しい法律を定めたため、ラッダイト運動は次第に下火になった。
- ⑤ この運動は人々の仕事を奪ったネッド・ラッドにちなんで名づけられた。
- ⑥ この運動は織物産業の工場主によって支持された。

正解 ⇒ ②・④

第2段落第4文～第6文に、ラッダイトたちが新しい機械を失業の脅威とみなしたため、工場に打ちこわしに入ったと述べられているので、②は正解。また、第3段落第3文～第5文に、政府がラッダイト運動をよしとせず、法律を作って、運動を鎮静化させた、とあるので、④も正解。「自然環境」についての記述はないので、①は誤り。第2段落第5文に、技術の有無にかかわらず、機械によって同様の成果があげられるとある。よって、逆に技術の低い労働者に雇用機会が生まれる可能性もあることから、③は誤り。ネッド・ラッドは自分の仕事を奪った最新の機械を破壊し、それが広がったのがラッダイト運動であるので、⑤は誤り。⑥については、第3段落第1文から誤りだと分かる。運動を支持したのは「織物産業の労働者」だ。

【語句・表現】

- ・ order 「順序」
- ・ matter 「重要である」
- ・ the Luddites 「ラッダイト (ラッダイト運動に参加した人々)」
- ・ attack 「～を攻撃する、襲撃する」
- ・ in order to do 「～するために」
- ・ protect 「～を守る」

- ・ cause A to do 「Aが～する原因になる」
- ・ movement 「運動」
- ・ low-skilled 「技術の低い」
- ・ employment opportunity 「雇用機会」
- ・ take place 「起こる」
- ・ less and less 「ますます～ない」
- ・ frequently 「頻繁に」
- ・ name A after B 「BにちなんでAに名づける」
- ・ take away ～ 「～を奪う」
- ・ support 「～を支持する」
- ・ cloth-making industry 「織物産業」

問3 「要点メモの 40 を埋めるのに最も適切な選択肢を選びなさい」

- ① 自分たちの仕事に誇りを持たなくなるだろう
- ② より高い技術の習得を求められるだろう
- ③ 古い機械を新しいものに入れ替えなければならないだろう
- ④ 夜遅くまで働かなければならないだろう

正解 ⇒ ①

第2段落第4文に、「ラッダイトたちは、機械が雇用や賃金、さらには自分たちの誇りをも脅かすものだと考えた」とあるので、①が正解。②～④の内容については記述がなく誤り。

【語句・表現】

- ・ no longer 「もはや～ない」
- ・ be proud of ～ 「～を誇りに思っている」
- ・ require 「～を求める」
- ・ gain 「～を手に入れる」
- ・ replace A with B 「AをBと取り換える」
- ・ after dark 「夜遅く、日が暮れてから」

問4 「要点メモの 41 を埋めるのに最も適切な選択肢を選びなさい」

- ① 破壊と暴力は現代社会にとって大きな脅威である。
- ② 政府は労働者だけでなく工場主も保護すべきである。
- ③ 社会をより豊かにするために新しい技術を導入すべきである。
- ④ 社会は変化の時代に労働者をどう守るかを考えるべきである。

正解 ⇒ ④

学ぶべき教訓としては、第4段落第2文後半の「急速に時代が変化の中で労働者を保護する必要性」から④が正解。工場主の保護については述べられていないので②は誤り。①と③は常識的に正しいように思われるが、本文に即していないので誤り。

【語句・表現】

- ・ destruction 「破壊」
- ・ violence 「暴力」

- ・threat「脅威」
- ・A as well as B「Bと同様にAも」
- ・introduce「～を導入する, 取り入れる」
- ・in times of ~「～の時に」

【全訳】

歴史の授業で, あなたの研究グループは社会の変化について発表することになっています。グループに共有したい記事を見つけました。次回の会議のため, 要点メモを完成させましょう。

ラッダイト運動

技術の進歩とそれに対する人々の反応について考えるとき, 歴史から学ぶべき教訓がある。そのひとつがラッダイト運動である。ラッダイト運動は, イギリス人のネッド・ラッドにちなんで名づけられたが, 彼は自分の仕事を奪う機械を破壊したと言われている。ラッダイト運動は19世紀初頭にイギリスで起こったもので, 労働者, 特に織物産業において高い技術を持っていた人たちが, 新しい技術によって自分たちの生活が脅かされることを恐れ, 機械の破壊運動に参加した。彼らはラッダイトと呼ばれる。

この時代, 織物産業には大きな変化が起きていた。それまで熟練工によってのみ可能であった上質な布地の生産を可能にする新しい機械が導入されたのだ。機械によって, より高い効率性, 生産量の増加, コストの削減が期待された。しかし, ラッダイトたちは, 機械が雇用や賃金, さらに自分たちの誇りをも脅かすものだと考えた。なぜなら, 機械によって技術の低い労働者でも熟練工と同じように, あるいはそれ以上の仕事ができるようになったからだ。ラッダイトたちは新しい技術に対抗するため, 集団で夜な夜な工場に侵入し, 二度と使えないように機械を破壊した。

ラッダイト運動は, 織物産業の労働者から大きな注目を集め, 支持を得た。ラッダイトたちは, 一部の人たちから産業革命の冷たく残酷な機械に対抗する, 伝統的な熟練労働の擁護者とみなされた。しかし, 政府と工場主は彼らを犯罪者であり, 社会に対する脅威とみなした。彼らは力づくで対応に出た。運動を阻止するために厳しい法律を制定し, 軍隊を送り込んだのだ。ラッダイトたちは捕らえられ, 厳罰に処された。運動は次第に下火になり, 工場主たちは工場と機械を再建した。さらに, 多くの労働者が最終的には変化に適応し, 技術的に進歩した社会で新しい仕事を見つけた。

ラッダイト運動は目的を達成することはできなかったが, 現代社会の形成に重要な役割を果たした。技術の進歩がどれほど大きな影響を及ぼすか, そして急速に時代が変化する中で労働者を保護する必要性を明らかにしたのである。今日, 「ラッダイト」という言葉は, 技術の進歩に抵抗したり恐れったりする人々を表す言葉として世界中で使われている。人々が機械を破壊したのは遠い昔のことだが, 新しいテクノロジーに対する恐怖心は相変わらず大きい。ネッド・ラッドが私たちに残した教訓は, 今日まで生きている。

要点メモ:

ラッダイト運動	
前書き	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 19世紀初頭のイギリスで起こった, 機械の使用に反対する社会運動 ◆ ラッダイトたちは <input type="text" value="37"/> だった。
事実	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 織物産業に新しい技術が導入された。 ◆ 機械によって, 技術の低い労働者でも熟練工と同じように働くことができるようになった。 ◆ <input type="text" value="38"/> ◆ <input type="text" value="39"/>

理由

ラッダイトたちが心配したこと:

- ◆ 職場から必要とされなくなるかもしれない。
- ◆ 労働に対する報酬が減るだろう。
- ◆ 。

学ぶべき教訓

- ◆

【語句・表現】

〈導入文〉

- ・presentation「口頭発表」
- ・article「記事」
- ・share「～を共有する」
- ・complete「～を仕上げる, 完成させる」

〈第1段落〉

- ・react to ~「～に対応する」
- ・lesson「教訓」
- ・Englishman「英国人」
- ・be said to do「～されている」
- ・century「世紀」
- ・especially「特に」
- ・cloth-making industry「織物産業, 製布業」
- ・for fear that S V「～することを恐れて」

- ・threaten「～を脅かす」
- ・living「生計, 生活」

〈第2段落〉

- ・time「時代, 時期」
- ・produce「～を生産する」
- ・promise「～を約束する」
- ・efficiency「効率, 能率」
- ・production「生産」
- ・reduce「～を減らす」
- ・see A as B「AをBとみなす」
- ・wage「賃金」
- ・enable A to do「Aに～することを可能にさせる」
- ・perform「～を成し遂げる」
- ・break into ~「～に押し入る, 侵入する」

〈第3段落〉

- ・significant「重大な」
- ・attention「注目」
- ・defender「擁護者, 守護者」
- ・traditional「伝統的な」
- ・cruel「冷酷な, 無慈悲な」
- ・criminal「犯罪者」
- ・force「力」
- ・strict「厳しい」
- ・law「法律」

- ・military 「軍隊, 軍人」
- ・severely 「厳しく」
- ・punish 「～を罰する」
- ・frequent 「頻繁な」
- ・rebuild 「～を再建する」
- ・in addition 「さらに, 加えて」
- ・eventually 「ついには, 最終的には」
- ・adapt to ～ 「～に適応する」
- ・technologically 「技術的に」
- ・advanced 「進歩した」

〈第4段落〉

- ・fail to do 「～することができない」
- ・achieve 「～を達成する」
- ・goal 「目標, 目的」
- ・play a role in *doing* 「～することの役割を果たす」
- ・shape 「～を形づくる」
- ・modern 「現代の」
- ・prove 「～を証明する」
- ・impact 「衝撃」
- ・advancement 「前進, 進歩」
- ・rapid 「速い, 急速な」
- ・term 「用語」
- ・describe 「～を記述する」
- ・resist 「～に抵抗する」
- ・as ~ as ever 「相変わらず～で, 今までと同じように～で」
- ・alive 「生きている」

第8問

問1 「次のうち 42 に適さないものはどれか」

- ① 気温の影響を受けやすい
- ② 植物と動物を食べる
- ③ 体には4本の脚がある
- ④ 2組の翅をもっている
- ⑤ 日中は活動的ではない

正解 ⇒ ③

本文の第2段落でコオロギの体の特徴, 第3段落でコオロギの生態の特徴が述べられている。それらの記述内容に合致しないものを選ぶのが問1であるが, 第2段落第4文の「体の両側には, 3本の脚, 2つの翅(はね), そして尾毛と呼ばれる特別な感覚器官がついている」という記述より, ③の選択肢が合致せず, 本問の正答となる。なお, ①に関しては第3段落第4, 5文, ②は第3段落第2文, ④は第2段落第6, 7文, ⑤については第3段落第1文の記述内容にそれぞれ合致する。

【語句・表現】

- ・following 「次に続くもの」
- ・suitable for ～ 「～に適する」

- ・affect 「～に影響を与える」
- ・temperature 「気温」
- ・active 「活動的な, 活発な」
- ・daytime 「日中, 昼間」

問2 「体の仕組み(メス)のスライドを完成させるためにコオロギの説明図の空欄の名称を埋めなさい」

43

- | | | | | | |
|---|--------|---------|--------|---------|---------|
| ① | (A) 触角 | (B) 尾毛 | (C) 後翅 | (D) 耳 | (E) 産卵管 |
| ② | (A) 触角 | (B) 耳 | (C) 前翅 | (D) 尾毛 | (E) 産卵管 |
| ③ | (A) 触角 | (B) 耳 | (C) 後翅 | (D) 産卵管 | (E) 尾毛 |
| ④ | (A) 尾毛 | (B) 耳 | (C) 前翅 | (D) 産卵管 | (E) 触角 |
| ⑤ | (A) 尾毛 | (B) 産卵管 | (C) 前翅 | (D) 耳 | (E) 触角 |

正解 ⇒ ②

問2はメスのコオロギの体の構造を問う問題であるが, コオロギの体の特徴に関しては, 本文の第2段落を中心に語られている。(A)に関しては, 同段落第3文の「頭部には2つの目と2本の触角がついている」という記述より, 触角(antenna)であることが分かる。(B)は, 第10文に「驚くべきことに, 彼らの耳は前脚についており」とあることから, 耳(ear)であると考えられる。(C)については, 第6, 7文の「実際には2組の翅があり, 前翅の組と後翅の組である。後翅は前翅に隠れている」という箇所より, 前翅(front wing)と判断できる。(D)は, 第4文に「体の両側には, 3本の脚, 2つの翅, そして尾毛と呼ばれる特別な感覚器官がついている」とあることから, 尾毛(cercus)にあたる。また, 続く第5文に「メスには体の末端部に産卵管と呼ばれる長い筒状の器官もあり, これを使って卵を産む」とあるので, (E)には産卵管(ovipositor)が当てはまる。以上より, ②が正解の組み合わせである。

【語句・表現】

- ・complete 「～を完成させる」
- ・blank 「空欄の, 空白の」
- ・label 「表示, ラベル」
- ・illustration 「説明図, イラスト」
- ・cricket 「コオロギ」
- ・structure 「構造」
- ・female 「メス」
- ・antenna 「触角」
- ・cercus 「尾毛」
- ・back wing 「後翅(こうし), 後ろの翅(はね)」
- ・ovipositor 「産卵管」
- ・front wing 「前翅(ぜんし), 前の翅(はね)」

問3 「鳴き声のスライドを完成させるために 44 と 45 に入る最も適切な2つの選択肢はどれか(順番は問わない)」

- ① コオロギは老いるにつれて, 鳴く回数が減り始める。
- ② コオロギは気温15度より気温30度でより頻繁に鳴く。
- ③ メスのコオロギはオスをひきつけるために短く高い音で鳴く。
- ④ コオロギが鳴いているのを聞くと神経質になったりイライラしたりする人がいる。
- ⑤ コオロギの鳴き声を描写する文学の古典作品がいくつか存在する。

正解 ⇒ ②・⑤

本文の第3段落第5文の「例えば、ある実験によれば、1匹のコオロギが15秒間に鳴く平均的な回数は気温（摂氏）30度で46回であるが、気温15度においては19回に減少する」という記述、及び第4段落第5文の「彼ら[コオロギ]の鳴き声の初期のいくつかの記録は最古の和歌集である『万葉集』に見ることができる」という記述より、②と⑤が正解。

なお、第3段落第4、5文より、コオロギの鳴く回数が増えるのは涼しくなるにつれてであるため、①は誤り。また、第4段落第3、4文より、オスのコオロギが求愛のために鳴くとあるので、③も誤り。④に関しては、該当する記述が本文中に存在しないため、不適。

【語句・表現】

- ・ option 「選択肢」
- ・ order 「順番」
- ・ matter 「重要である」
- ・ attract 「～をひきつける、～を魅了する」
- ・ nervous 「神経質な、不安な」
- ・ irritated 「イライラしている」
- ・ classical 「古典の」
- ・ literature 「文学」
- ・ describe 「～を描写する」

問4 「最後のスライドを完成させるための最も適切な文はどれか」 46

- ① コオロギは世界を救う潜在的な力を持っているが、我々は昆虫食の危険性にもっと注意を払うべきである。
- ② 世界的に深刻な食糧危機を解決するのに役立つことがあるため、食べ物としてのコオロギは将来的に地球を救うと期待されている。
- ③ コオロギを食べたくない人たちもいることは事実だが、コオロギは将来的に国際的な食料源になる可能性があり、食べる価値がある。
- ④ 最近、コオロギ食品は世界中で人気があり、動物の肉は将来的に完全に代用されるだろう。

正解 ⇒ ③

第6段落では食品としてのコオロギの将来的な有益性が語られており、同段落第1文の「特に虫が苦手な場合には、コオロギを食べることをためらうかもしれないが、近年、コオロギは持続可能な食料源として世界中で注目されている」という記述、及び第6、7文の「人間は新しくかつもっと地球にやさしい食料源を獲得する必要がある。もしコオロギを食べる機会があれば、ぜひ食べてみて、どうか地球を救う手助けをして下さい」という記述より、③が正解。

他の選択肢に関しては、①の「我々は昆虫食の危険性にもっと注意を払うべきである」、②の「世界的に深刻な食糧危機を解決するのに役立つことがある」、④の「動物の肉は将来的に完全に代用されるだろう」というそれぞれの記述が本文から読み取ることができないため、全て誤りとなる。

【語句・表現】

- ・ statement 「文、言明」
- ・ potential 「潜在的な力」
- ・ attention 「注意」
- ・ expect A to do 「Aに～するように期待する」
- ・ crisis 「危機」

- ・ worth doing 「～する価値がある」
- ・ completely 「完全に」
- ・ replace 「～に取って代わる」

問5 「コオロギの一生について何を推論することができるか」 47

- ① 成虫のコオロギが冬を越すのは不可能である。
- ② コオロギが成虫になるには2、3週間かかる。
- ③ 平均して成虫のコオロギは2、3年生きる。
- ④ コオロギの一生は未だ明らかになっていない。

正解 ⇒ ①

本文の第3段落第3文の「基本的には、コオロギは初夏に生まれ、1、2か月で成虫になり、メスが卵を産んだ後、秋に寿命を迎える」という記述より、原則コオロギが越冬することはないことが分かり、①が正解。

【語句・表現】

- ・ infer 「～を推論する、～を推察する」
- ・ life cycle 「一生、ライフサイクル」
- ・ survive 「～を乗り越えて生き残る」
- ・ on average 「平均して」
- ・ be yet to do 「未だ～していない、これから～するはずである」
- ・ make A clear 「Aを明らかにする」

【全訳】

あなたは昆虫に興味があり、生物に関する発表コンテストに参加する予定です。あなたは以下の文章を書き、自身の発表用のスライドを作っています。

日本では秋になると、時おり草むらや花壇で虫たちが美しく鳴くのを耳にする。どの虫が美しく鳴いているのか。ご想像通り、多くの場合、コオロギである。

コオロギの体長は10ミリから40ミリである。体の色はたいてい黒か茶色である。頭部には2つの目と2本の触角がついている。体の両側には、3本の脚、2つの翅（はね）、そして尾毛と呼ばれる特別な感覚器官がついている。メスには体の末端部に産卵管と呼ばれる長い筒状の器官もあり、これを使って卵を産む。一見すると、コオロギには1組の翅しかないように思われるかもしれないが、実際には2組の翅があり、前翅の組と後翅の組である。後翅は前翅に隠れているので、見つけるのが難しいかもしれない。しかし、翅を持っていてもコオロギは飛ぶことができない。むしろ、長く太い後ろ脚によって、まるで飛んでいるように、長い距離を跳ぶことができる。加えて、驚くべきことに、彼らの耳は前脚についており、その耳はとても敏感で遠くから他のコオロギの鳴き声を聞くことができる。

生態に関しては、森のような草が生い茂った場所を好み、夜行性であるため日中に姿を見ることは難しい。ほとんどのコオロギは葉や花、他の昆虫や動物の死骸を食べるが、一方で彼らの天敵はクモ、カエル、鳥である。基本的には、コオロギは初夏に生まれ、1、2か月で成虫になり、メスが卵を産んだ後、秋に寿命を迎える。気温はコオロギ、特に彼らの鳴き声に影響をかなり与え、涼しくなればなるほど、彼らが鳴く回数は少なくなる。例えば、ある実験によれば、1匹のコオロギが15秒間に鳴く平均的な回数は気温（摂氏）30度で46回であるが、気温15度においては19回に減少する。

翅と一緒にこすり合わせることによって、コオロギは鳴いて高い音を出す。実際に、その音はとても高く電話で伝えることができない。つまり、彼らの鳴き声を他の誰かに電話越しに伝えることはできな

いのである。他の動物と同様に、基本的に鳴くのはオスである。オスはメスをひきつけるために鳴くのであるが、我々は古代より彼らの求愛の鳴き声を聴くことを楽しんでいる。彼らの鳴き声の初期のいくつかの記録は最古の和歌集である『万葉集』に見ることができる。

世界の一部の地域や国では、コオロギは日常的な食品として食べられている。まろやかな味がするため、コオロギは「陸のエビ」と呼ばれることがある。興味深いことに、コオロギの味は彼らが食べるものに影響される。例えば、コオロギに果物を与えると、彼らは果物の味がするようになる。栄養源としては、コオロギにはミネラルとビタミンが豊富で、牛肉、豚肉、鶏肉などのような食肉と同じくらい多くのタンパク質を含んでいる。

特に虫が苦手な場合には、コオロギを食べることをためらうかもしれないが、近年、コオロギは持続可能な食料源として世界中で注目されている。これは、世界の人口が劇的に増加しているからである。世界の人口が2050年には100億人に達し、将来的に深刻な食糧不足に我々は苦しむと予想する専門家もいる。2013年に、FAO（国際連合食糧農業機関）は我々が昆虫を食料として有効活用することを提言した。コオロギは以下の理由において有力な候補である。コオロギは大きな動物と比較して格段に必要な場所と水が少ない。コオロギは豚や牛と比較してCO₂（二酸化炭素）の排出量が極めて少ない。コオロギは繁殖させやすく栄養価が高い。コオロギの粉末を含んだ軽食であるコオロギのプロテインバーはイギリスで販売されており、2020年にはコオロギビスケットが日本で注目を集め販売開始直後に売りが切れた。食料としての人気はまだ低く、加えて我々はより大量のコオロギを費用を抑えて育てる方法を見つけなければならないが、人間は新しくかつもっと地球にやさしい食料源を獲得する必要がある。もしコオロギを食べる機会があれば、ぜひ食べてみて、どうか地球を救う手助けをして下さい。

あなたの発表用のスライド：

<p>コオロギ： 地球を救う歌い手たち</p>	<p>1. 基本的な特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体長10ミリ～40ミリ ・黒または茶色 <p>42</p>
<p>2. 体の構造（メス）</p> <p>43</p> 	<p>3. 鳴き声</p> <p>44 45</p> 
<p>4. 食品として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エビのような味がする ・ビタミンとタンパク質を豊富に含む ・持続可能な食品として注目を集める ・地球にやさしい 	<p>5. コオロギの力</p> <p>46</p>

【語句・表現】

〈第1段落〉

・grass「芝生、草」

・flower bed「花壇」
・guess「～を推測する、言い当てる」

〈第2段落〉

・sense organ「感覚器官」
・tube-shaped「筒状の」
・lay eggs「卵を産む」
・at first sight「一見すると」
・appear to do「～するようになる」
・fold「～をたたむ」
・allow A to do「Aが～できるようにする、Aに～することを許す」
・rather「むしろ、どちらかと言えば」
・enable A to do「Aが～することを可能にする」
・as if S V「まるで～するように」：as if以下の文は事実とは異なる場合、仮定法となる。
・be located in「～に位置している」
・sensitive「敏感な」

〈第3段落〉

・as of「～について、～に関して」
・grassy「草が茂った」
・natural enemy「天敵」
・basically「基本的には」
・strongly「強く」
・for instance「例えば」
・according to「～によると」
・experiment「実験」
・second「秒」
・drop to「～まで下落する」

〈第4段落〉

・rub「～をこする」
・high-pitched「(音が) 高い」
・similar to「～に似ている」
・ancient「古代の」
・record「記録」

〈第5段落〉

・region「地域、地方」
・mild「(味が) まろやかな」
・shrimp「(小さい) エビ」
・interestingly「興味深いことに」
・fruit-flavored「果物の味がする」
・source「源」
・nutrition「栄養」
・mineral「ミネラル」：食品中の栄養素における鉄、カルシウム、亜鉛などの無機物の総称。
・vitamin「ビタミン」
・contain「～を含む」
・protein「タンパク質、プロテイン」

〈第6段落〉

・hesitate to do「～することをためらう、～することを躊躇する」
・be in the spotlight「注目されている、注目を集めている」
・sustainable「持続可能な、地球環境にやさしい」

- ・ population 「人口」
- ・ dramatically 「劇的に」
- ・ expert 「専門家」
- ・ reach 「～に達する」
- ・ billion 「10億」
- ・ suffer from ～ 「～に苦しむ」
- ・ Food and Agriculture Organization 「国際連合食糧農業機関」
- ・ make better use of ～ 「～を有効活用する, ～をより効果的に用いる」
- ・ strong candidate 「有力候補」
- ・ reproduce 「～を繁殖させる」
- ・ nutritious 「栄養価が高い」
- ・ bar 「棒状のもの, バー」
- ・ snack 「軽食, お菓子」
- ・ cracker 「ビスケット, (お菓子の) クラッカー」
- ・ gather 「～を集める」
- ・ go on sale 「発売される」
- ・ popularity 「人気」
- ・ raise 「～を育てる」
- ・ economically 「経済的に, お金を節約して」
- ・ obtain 「～を獲得する」
- ・ give A a try 「A をためす」
- ・ help (to) do 「～する手助けをする, ～するのに役立つ」